

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①社会で活用できる基礎・基本的な学力の定着と、他者と関わるための力の習得を目指し、きめ細やかな学習指導を行う。 ②育てたい生徒像の実現に向けた教育課程の再編成を行う。	①生徒の学習課題を把握し、効果的な指導方法や教材の工夫を行う。 ②コミュニケーション力、行動力の育成を目指した教育課程の見直しを行う。	①コミュニケーション力の向上を目指し、全教科で「話し合いの機会」をより多く設ける。 ①基礎学力の向上を目指し、学び直しを効果的に活用するための組織的授業改善に取り組む。 ②コミュニケーション力、行動力の育成を目指した教育課程の編成に取り組む。	①生徒による授業評価の中の「話し合いの機会」の数値が3.3以上か。 ①全教科で学び直しを取入れた授業を実施したか。 ②新学習指導要領に沿って、コミュニケーション力、行動力の育成を目指した新たな教育課程の編成案を作成したか。					
2 生徒指導・支援	①モラル・マナー・ルールを遵守する心を育成し、高校生として良識ある行動ができるように、規範意識と生活習慣を身につけさせる。 ②生徒が安心して活動できるための支援体制の充実を図るとともに、コミュニケーション力を育成する。	①全教職員で指導方針の共有を図り、職員一丸となった生徒指導を行う。 ②ケース会議・学習サポート員を活用して生徒支援体制の充実を図る。	①非常勤講師に生徒指導方針のオリエンテーションを行い、職員一丸となった生徒指導を行う。 ①学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめが起きにくい環境づくりを行う。 ②ケース会議で育てる教育相談に取り組むとともにSSWと連携した取組を行う。 ②学習サポート員の活用し個別の支援を行う。	①生徒指導方針を、非常勤講師を含めた全職員で共有しながら生徒指導を行ったか。 ①各学期に1回行う学校生活アンケートのいじめの認知件数。 ②ケース会議で育てる教育相談を取り扱った件数 ②SSWと連携した対応・取組の実践内容。 ②個別の支援が必要な生徒への支援内容。					
3 進路指導・支援	生徒一人ひとりが将来設計を考え、進路決定できる力を育成するとともに	生徒の実態に合わせたキャリア教育実践プログラムを策定する。	コミュニケーションが苦手な生徒に対するプログラムを策定する。	4年間を見通したキャリアと就職指導と学習支援を有機的に統合したプログラム					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		に、進路実現を可能とするために、計画的かつ系統的な指導・支援体制の充実を図る。		NPOや地元の商工会議所等と連携し、地域におけるインターンシップ事業を拡大し、参加者を増加させる。	を積み上げ、実施できたか。 インターンシップに参加した生徒の増加数。(平成29年度は2名)					
4	地域等との協働	学校からの情報発信を積極的に行うとともに、家庭・地域社会との連携や交流を推進し、地域に愛される学校づくりを推進する。	地域との連携や交流を継続・発展させるとともに、新たな地域との連携を行い、地域に愛される学校づくりを行う。	コミュニティ・スクールを活用し、特別支援学校・老人ホームへの訪問、中村自治会ほたる祭のボランティアの生徒参加数を増やす。 コミュニティ・スクールを活用し、新たな地域との連携を構築する。	特別支援学校・老人ホームへの訪問、中村自治会ほたる祭等のボランティアの参加生徒数が昨年度に比べて増えたか。 新たな地域連携の内容。					
5	学校管理 学校運営	①事故・不祥事の防止を徹底するとともに、防災意識を高め、安全教育を推進する。 ②いのちを大切にす心、いじめを許さない心を育む教育を推進する。	①夜間定時制としての防災体制の確立を図る。 ②「共生・いのち・生きる」を考えさせる取組を通して、いのちを大切にす心、他者を理解する心等を育む。	①夜間における災害発生に備えた訓練を実施する。 ②「共生・いのち・生きる」を考える授業を改善・実施する。	①実践的な宿泊防災訓練を実施し、生徒・職員の防災意識を高めたか。 ①災害時に避難してきた地域住民への対応マニュアルを整備できたか。 ②「共生・いのち・生きる」の授業の視聴覚教材を更新し実施できたか。					